

令和4(2022)年度事業報告書  
自令和4年4月1日 至令和4年3月31日  
公益財団法人大平正芳記念財団

## I. 事業活動の概要

公益財団法人として、3つの公益事業「環太平洋学術研究奨励事業」、「北京日本学術研究センターとの共同事業」、並びに「当財団の事業について普及・啓発・啓蒙を行う事業」に関し、個々事業の公益性と運営の効率化に留意しつつ、例年事業について着実に遂行するとともに、スポット案件についての的確に対応した。

### 1. 環太平洋学術研究奨励事業

[1]第38回大平正芳記念賞 6件  
クリスタル牌  
賞金 550万円

[2]第36回学術研究助成費 1件  
クリスタル牌  
賞金 60万円

コロナ禍の影響で授賞式はホテルグランドヒル市ヶ谷にて、授賞者と財団関係者だけで、トロフィー授与、記念写真撮影、懇談を行った。

### 2. 北京日本学術研究センターとの共同事業

(1)「第十八回日本語優秀学位論文大会」表彰式  
表彰式 ZOOM でおこなった。財団から出席せず。

多くの応募者の中から、次の6名に賞状と記念品の授与を行った。

高宁	中国における西洋音楽用語の受容に関する実証的研究—曾志忞《楽典教科書》(1904)を中心に—
狄燕	中国人日本語学習者における使役の習得研究—日本語教育文法の視点による実証的検討—
周琼彬	芥川龍之介「将軍」論——その改編と創作を中心に

张语铄	岡倉天心の日本文化論—『東洋の理想』『日本の覚醒』『茶の本』を中心
章新栄	日本のテレビCMにおけるジェンダー役割に関する研究—インターセクショナル리티の視点に基づいて—
郭笏	日本における新規学卒者の就職に関する考察—中国への示唆

### 3. 当財団の事業について普及・啓発・啓蒙を行う事業

#### (1) 「大平正芳記念財団の事業」パンフレット及び「大平正芳記念財団レポート」発行事業

##### ① 「大平正芳記念財団の事業」パンフレットの発行

ア. 「大平正芳記念財団の事業」パンフレット

イ. 「大平正芳記念財団の事業活動」

(令和3年6月から同令和4年5月まで)パンフレットに掲載

##### ② 「大平正芳記念財団レポート」第40号の発行

1 「硯滴考12、13号」発行

#### (2)5月、オンライン版 大平正芳関係文書 頒布報告書

#### (3)10月発刊

『大平正芳とその政治 再論—大平政治が今日の改革に示唆するもの—』

#### (4)8月～令和5年10月

『1970年代の日中関係の展開と大平外交』（仮題）

川島真東京大学教授他13名

#### (5)大平賞（観音寺第一高等学校）創設

#### (6)その他

##### ① マスコミ取材対応

・10月 NHK BSプレミアム放映

「日中国交正常化50周年 戦火を越えて 後編」に

大平正芳文書4004（大平正芳手帳1971年）及び、

4005（大平正芳手帳1972年）撮影協力提供

・毎日新聞 環太平洋連帯研究グループ報告書とその写真

・令和5年2月 NIRA 総研フォーラムに

『大平正芳とその政治 再論』を見本展示

- ・令和5年3月 四国新聞  
「観音寺一高に大平賞創設」

## II 本年度中の主な庶務事項

### 1. 理事会・監事会・評議員会

- (1) 令和4年5月13日 監事会（決算監査）
- (2) 令和4年6月10日開催 定時理事会（決議の省略（書面表決））
  - ① 令和3年度事業報告案及び収支決算案承認の件
  - ② 内閣総理大臣（内閣府大臣官房公益法人行政担当室）宛定期提出書類案（令和3年度事業報告及び収支決算に係る）承認の件
  - ③ 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等決定の件
- (3) 令和4年6月27日開催 定時評議員会  
持ち回りで表決
  - ① 令和3年度事業報告案及び収支決算案承認の件（評議員会マター）
  - ② 内閣府宛定期提出書類案承認の件
  - ③ 特定寄附金募集承認の件（理事会マター）
- (4) 令和5年2月22日開催 臨時理事会
  - ① 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等決定の件
- (5) 令和5年3月15日開催 通常理事会、通常評議員会  
持ち回りで表決
  - ① 2023年度事業計画案及び収支予算案承認の件

### 2. 運営・選定委員会

本年度中に計4回開催し、ZOOMにて開催。  
第39回大平正芳記念賞・第37回学術研究助成費授賞者を決定した。  
第11回鈴木 三樹之助記念・岩手大学大学院奨学金支給に関して、  
応募者はなかった。

### 3. 主務官庁関係事項

令和4年6月28日、内閣総理大臣（内閣府大臣官房公益法人行政担当室）宛に、令和3年度事業報告及び収支決算に係る、定期提出書類の届出を行った。

令和4年11月17日、佐藤嘉恭評議員死亡に伴い退任届。

令和5年1月13日 事務所移転変更届けを行った。

令和5年3月31日、内閣総理大臣(内閣府大臣官房公益法人行政担当室)宛に、2023年度事業計画及び収支予算に係る、定期提出書類の届出を行った。

#### 令和4年度事業報告書の付属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項」に規定する、事業報告の内容を補足する重要な事項はないことから、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第123条」に定める、令和3年度事業報告書の付属明細書に記載する事項はありません。